

sec@r 観音たより

発行所：和歌山県

海草郡下津町橋本一〇六五

福勝寺内

電話 (0734) 940311

編集人：

本多碩峯

何が悪で何が善なのか

修行僧 本多碩峯

善を行うという、その善とは何を意味するのか。悪を為すなと言っても、悪とは何を意味するか。これはわかりきったことのように思いますが、現実の問題としては、一つの行為が、善であるか悪であるか、判定に苦しむ事があります。

昨今の事犯の中でも数々疑問に思うことがあると思われまます。例えば、人様の物を盗むこと、あるいは危害を加えることは、誰でも悪であると思つし、また、いかなる場合でも、いけないことであると言える。

ところが個別の場合にぶつかる、または二つのあり方のうち、どちらが優れ、どちらが劣っているのか、あるいはどちらが善で、どちらが悪とすべきか、といういろいろ悩む場合にぶつかる。

これは多かれ、少なかれだれでも経験のあることだと思つ。

初期の仏典の中では定義的に何も述べていないようですが、「多くの人のためになることが善であり、人を害することが悪である」と漠然と考えていたようです。人間はしょせん有限な行為の存在で

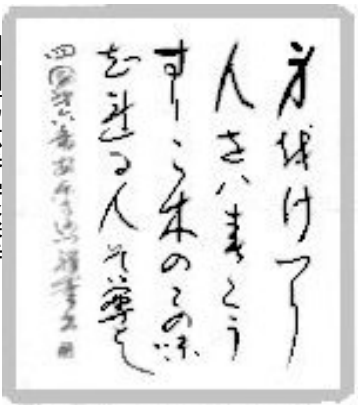
あるから、善を為すといつても、限られている。限られているために、悪を含む事もあり得ます。

たとえば、一つの行為をみて、かに一方からみれば八十パーセントは善であると言えても、他方からみると二十パーセントは具合が悪いということが現実にはあり得るので、人間がしょせん完全になりきれないという問題について、大乘仏教で特にわが国では浄土教において、親鸞上人が痛切な問題として取り上げ、自覚されたのであります。

尚倫理的な問題になるのは、善という場合に動機をもって評価すべきか、あるいは、結果としての現れをもつて評価すべきであるか、という問題である。動機論か、結果論という問題のたて方は、近代人であるわれわれが持ち出す疑問である。

仏教学者の考えは、それは仏教徒は「動機論」をとっている。「たとえ結果がよくても、動機が悪ければ、それは悪とみなすべきではないか」というのであります。仏教はもとも、「こころのなかに思うだけでも、もし悪いことを思つたらば、

真理の花たば



身をけずり、人をば救う、すりこ木のこの味知れる人ぞ尊し。

四国第六番安楽寺

長老・大僧正 畠田禅峰

それは悪である」と説かれているのです。

善悪をこえる

一方仏教では「善悪をこえる」という思想があります。特に大乘仏教ではそれが強調されており、初期の釈迦仏教では執着をはなれて相対立する二つのものにとらわれないという立場で、善悪の対立を超えることが説かれている。

「うるわしい白蓮が泥水に染まらないうちに、ブツダは、善悪の両者にけがされない」と釈尊を称えています。善悪の対立をこえようと

か、善悪にけがされるなどというこの教えはむじゅんしているのではないかと疑問が起ころ。西洋人(キリスト教的思考・デジタル的思考)はしきりに(次ページ

明日への装を提案します!

寝装・和装・洋装・総合繊維卸

株式会社 マスメン

代表取締役 増田都司夫

〒 640-8376

和歌山市新中通2丁目8

TEL (0734)24-4466 (代表) FAX (0734)36-6508

豊かなまちづくりに参加します!

株式会社 田淵建築設計事務所

無限供給の原理に基づく創造!!

代表取締役 木田耕藏

本社

〒 640-8287 和歌山市築港4丁目2-1

TEL(0734)31-0261 FAX(0734)31-3898

このことを問題にしますが仏教の立場（仏教的思考・アナログ的思考）からみると、この点は見事に解決できる。すなわち、本来に人間の心が浄らかになり、とらわれることがない境地に達し得たならば、行いはおのずから善に合致してくる。そこに対立を残さない。対立すれば、それは完全に円満であると言えない。

具体的な例について述べよう。毎年、アフリカを中心にダカールラリーが行われている。日本の篠塚健一郎（五十歳）選手は一度総合優勝されていますが、今年度のラリーでは（一月十三日現在、総合四位）篠塚選手も若い時代に免許取り立て時は一般人と同じように、はじめのうちはなかなか難しく、もし間違ったら大変なことになるから一つ一つことに気を配る。それでも間違いをしでかすことがあるしかし練習を積んで習熟すること十数年その結果車体と運転する篠塚選手と一体になってくる。東洋のむかしの表現で「人馬一体」という言葉がありますが、現代人の篠塚選手はドライブする車体と一体になって、車が篠塚選手の一部となつて自由自在に動く。だから規則のことなど意識していなくても熟達してしまつと、自由な境地で車を運転しながら、しかも全く違反す

るようなことなく、猛烈なスピードで飛ばしても、何ら問題を起こさない。すなわち達した境地に至ればそれができる。（総合優勝を期待する！）

達した境地においては対立を超えている。つまり、正しいことと、誤ったこととの対立の意識をこえている。意識を超えながら、しかもその為すことがすべて規則に合致して、何ら乱れることがない。そうなる善悪の対立をこえ、すべてとらわれがなくなり、すべて法則にしたがつて何ら誤れることがない境地にいる。

西洋的思考は実践の問題に對立的感点で考える。

人間にはいろいろな行為のしかたが可能であり、ある行為が善であるように為すことは、その行為が正しいものであるようにしむけることでもあります。正しいこの実践を仏教では、「八正道」すなわち正しい見解、正しい意欲、正しい言葉、正しい行為、正しい生活、正しい努力、正しい意念、正しい精神統一の八つである。

「何か悪いことを行った場合に、人々に知られないかもしれない。けれども自分が知っているではないか。本来の自己も現象の自分をしてるのである」「この場合の本来の自己は現象の心の奥に存在する。法華經に説かれる「仏」とはこの

「本来の自己」のことであり、「この人間の生命（いのち）の背後にある「根源的生命」のことであります。この根源的生命、無限生命そのものが、本当の自己であります。「久遠実成」なのです。合掌（実相の生命）」

引用文
如来寿量品第十六品
人間の眞の幸福 永久に変わらない幸福というものは、大宇宙の法則、大生命の法則、宇宙の叡智、心の法則にしたがつて、生命としての秩序正しき、自利他利即ち慈心悲心の生活を生きることによつてだけ得られるものであります。自分の肉体の欲望を満たすことだけを幸福と誤つて、肉の貪りに執着することになると、自然物質の満足だけでたかぶりの念がおこり、収拾し難き間違つた思いに墮落することになるのであります。眞実の幸福は現世に居ることと靈界に居ることの区別によつて異なるものではありません。何処に居ても、自利他利の心行による以外には、その人の変わることも無き、無窮の幸福というものはあるべからざるものである。この事を教えて、全ての人間をして眞実の幸福を得せしめるために釈尊は教えを説かれたのであります。

（法華經解釋・谷口雅春著）

幸せライフのお手伝い！

総合建設業

株式会社 酒井技建

代表取締役 酒井 武 義

〒640-0416

和歌山県那賀郡貴志川町長山 277-68

TEL(0736)64-6776 FAX(0736)-8908

皆さんのスーパー



株式会社 みち屋

代表取締役 道畑 勇

本 部 和歌山市岩橋 7 2 9 番地の 6

TEL (0734) 73-4197

FAX (0734) 72-4519

松 島 店 和歌山市加納 2 4 6 番地の 1

TEL (0734) 74-3500

貴志川店 那賀郡貴志川町大字北山 5 1 7 番地

TEL (0736) 64-7020

一向に愚痴をこぼさず、児の為に乳を貰って村を歩き回って、罪もない児を育てるのに一生懸命だった。半年ほどばかり月日は流れて行った。ある夜、例の如く寝る前の乳をもらいに白隠が門前に出た。月冴えた夜だった。焼け付くように泣くわが児の鳴き声を聞くにたまらなくなつた娘は父親に「あの児は和尚さんの子でありません。お父さんは何時も和尚さんを仏さまのように敬っておられるので和尚さんの児といえれば私の不貞を許してくださいるかと思つたのです」と、本当の若い相手の名前を挙げてた。父親は驚き眼色なしである。早速お寺へ走って泣きながらお詫びをして、どうかその児を戻して下さいというと、白隠和尚は「あゝそうか」とだけ言つて少しも怒つたようす無く赤ん坊を手渡したという。(武者小路実篤の書より)

仏教用語

戒律(かいりつ)：仏教の戒と律
修行者としての行動規範。

貪(むさぼ)り：欲深く物をほしがる。

自利(じり)：仏道修行を行ったその功德。

自利他利：多くの人の為の働きが自分の希望を叶えさせる。

山菜料理(1)

精進料理を基本に日常生活に取り入れたいと考えて畑や境内や近くの山で採集した山菜を素材に考えます。

椿の花の天ぷら



材料(二人分)

- 椿の花……………4個
- 揚げ油
- 衣:卵……………1個
- 水・薄力粉…各1カップ
- 酒……………大さじ1
- 塩……………少々

作り方 椿の花は形のよい、咲ききらないものを用意します。形そのままにして、花粉の芽やへたの青いところを取ります。

ボールに卵を割りほぐし、水・酒・塩を入れて混ぜ、薄力粉振り入れてさっくり混ぜ衣を作ります。揚げ油を高めに熱し、花びらの外側に衣をつけて揚げます。紙の上にとって油をきり、器に盛ります。椿の漢名：山茶、種子から取った油は化粧用油、食用油に使われている。

天ぷらの盛り合わせに、甘味のある淡い紫色の椿の花の天ぷらを添えますと美味しさも増します。

福勝寺行事案内

一、初午祭三月十九日午後一時
碩峯の写経・法話

三月度

一、写経会
三月十四日
午前十時～十二時
(会費・千円)

一、法話会

三月十四日
午後二時～午後四時

四月度

一、写経会
四月十日
午前十時～十二時
(会費・千円)

一、法話会

四月十日
午後二時～午後四時

編集後記

宙がえり何度でもできる無重力
手を取り合えば不可能はない

上の句・向井千秋

下の句・ケリントン大統領
素晴らしい短歌ですね。二人の心が如来蔵の心ですね。日本の伝統文化の素晴らしさを再確認させていただきました。

心ある方から文章が難解だから多くの読者に読んでいただくには解り易い内容にされてはと率直なアドバイスを頂戴しました。

素直に受け取り努力させて頂きます。大変難しいご要望で御座いますが私の課題であります。ご意見・ご感想をお寄せ下さい。
碩峯 合掌